



序論:この講義の目的

オブジェクト指向プログラミング特論

只木進一:総合情報基盤センター

オブジェクト指向

- オブジェクト指向開発・オブジェクト指向プログラミング
- 学部で習ったはず
- 身に付いたか?

- 問題をオブジェクトとその操作・運動としてモデル化できるか?
- クラスの継承は理解したか。使えるか。
- 抽象クラスは使えるか?



卒業研究の後の印象？

- 実用的経験が足りないのではないか？
 - 多数のプログラムを書いたか？
 - 役立つプログラムを書いたか？
- 卒業研究で作ったプロダクトは満足がいくモノか？
 - 「とりあえず」になっていないか？
 - 改善ポイントを多数残したのではないか？
- もっとスマートにプログラムを作りたくないか？
 - 自分はプログラミングができると思うか？
 - もっと上達したいと思わないか？



この講義の目的

- 実用的な例を通じてオブジェクト指向プログラミングを身につける
 - 後で活用できる例題
- Javaを習得する
 - Javaらしいコーディング
- スマートなプログラミングの枠組みを紹介する
 - 効率よく、良質なプログラムを書く
- プログラミングのスキルを向上させる



プログラミング上達のために

- モジュール化
- 全体の構成を整理する
- データ・モデル、全体の流れ、UIを分離する
- 適切なライブラリの活用
- 必ず理解すること
- 良い例題の学習
- 良い教科書を持つ



実用的な例

- ファイルIO
- XML
- データベース
- GUI
- サーブレット
- シミュレーション



準備

- JDK7とNetBeans7.2のインストール
 - <http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/index.html>
 - <http://ja.netbeans.org/>
- JDK7のAPIマニュアル
 - <http://docs.oracle.com/javase/7/docs/api/>



参考書

- Patrick Niemeyer, Jonathan Knudsen, Learning Java 3rd ed. (Oreilly, 2005).
- D. Poo, D. Kiong and S. Ashok, Object-Oriented Programming and java (Springer, 2008).

